出血性後天性凝固異常症の重症度分類（症例の状態を選択し、残りは削除すること）

１. 重症出血：

　(1) 致命的な出血

　(2) 重要部位、重要臓器の出血（例えば、頭蓋内、脊髄内、眼球内、胸腔内、

　　　腹腔内、後腹膜、関節内、心嚢内、コンパートメント症候群を伴う筋肉内

　　　出血等）

　(3) Hb値8 g/dL以下の貧血、あるいは2 g/dL以上の急速なHb値低下をもたらす

　　　出血

　(4) 24時間内に2単位以上の全血あるいは赤血球輸血を必要とする出血

２. 軽症出血＊：

　上記以外の全ての出血＊＊

　＊：日本語版簡略版出血評価票(JBAT)も参考にすることを推奨

　＊＊；多発性及び有痛性の出血は、重症に準じて止血治療を考慮すべき